

(様式第4号)

## 第8回 武石地域協議会 会議概要

1 審議会名	武石地域協議会
2 日時	令和元年12月18日 午後7時00分から午後8時20分まで
3 会場	武石地域自治センター2階 第1会議室
4 出席者	池内俊郎会長、大草ひろみ副会長、荻原和雄委員、掛川晴一委員、金井修一委員、金子るり子委員、木下嘉章委員、小池文男委員、小山ひとみ委員、櫻井照子委員、桜井保子委員、城下晃代委員、鈴木三千夫委員、高橋みち子委員、馬場美穂子委員、山岸誠委員 【欠席委員4名】
5 市側出席者	石井地域自治センター長、金子地域振興課長、宮越教育事務所長、佐藤市民サービス課長、滝沢産業建設課長、芳池丸子・武石上下水道課長 坂部地域政策担当係長、依田地域担当、掛川主査
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和2年1月8日

協 議 事 項 等

1 開会(大草副会長)
2 あいさつ(池内会長)
3 報告・協議事項
(1) 地域協議会の見直し(案)にかかわる意見書に対する回答について ・令和元年11月12日付で提出した「地域協議会の見直し(案)について」の意見書に対する回答書の回答内容について地域振興課から説明 (会長)変更はなかったとのこと。ただし、第8期地域協議会から、地域の実情に応じて「20人以内」の委員数を決定することになった。来期の委員数については今期中に決定しなければいけないので、次回協議をしたい。団体選出委員の方は、団体としても意見をまとめておいていただきたい。
(2) 第二次上田市総合計画 後期まちづくり計画策定に伴う「地域の特性と発展の方向性」の見直しについて ・第二次上田市総合計画 後期まちづくり計画「地域の特性と発展の方向性検証シート」における取組内容ごとの進捗状況と、今後のまちづくりの方向性を考えるうえでの課題や新たな視点を各担当課長から説明 【質問・意見等】 (委員)『安心で快適に暮らせる地域づくりの推進』の中の「災害等緊急時の情報伝達手段としての放送システムの整備」の新たな視点として職員間の放送訓練の実施と説明されたが、業務改善以外に視点はないか。また、「消防団と自主防災組織が連携した自分たちの地域は自分たちで守る自主防災体制の確立」の新たな視点に支え合いマップを活用した自主的な防災訓練とあるが、支え合いマップ自体が災害時に実際に使えるかどうかを再確認し、有効性のあるものにしていかなければいけない。 (委員)『活力ある農林業の推進と商工業の振興』とあるが、林業についての視点がない。松くい虫対策については全体計画の中にあるので、地域の計画には入れないと説明であったが、林業については入れた方がよいのではないか。また「優良農用地の利用促進と遊休荒廃農地の解消」の新たな視点として多面的機能支払交付金事業が今後の具体的な策だと思われるが、どのような事業なのか内容がよくわからない。具体的事例があれば教えていただきたい。 (産業建設課)下小寺尾で5年前から下小寺尾水土里会を発足して取り組んでいる。その後、各農業団体や自治会長会などで呼び掛け、現在は沖有志の会、下本入自治会、余里水土里会が取り組んでいる。申

請や会計事務が煩雑であったが、市全体で協定を結び組織化できたため事務の簡素化が図れた。下小寺尾は単体で活動しているが、その他の沖、下本入、余里は協定を結んで取り組みをしている。主な取り組みは草刈り作業などだが、場合によっては自分たちで水路を補修したりするメニューもある。活動することで交付金が支給される事業であり、これまでもPRしてきた。多くの自治会や組織に取り組んでいただけるよう、市全体でも力を入れている事業である。

(委員)先ほど林業の話が出たが、10月の台風19号の影響で林道もかなり被害が出たのではないかと。早期復旧は難しくても5年程度で修復していかないと、新たな被害が発生すると思う。

(委員)『地域をつなぐ道路交通環境の整備』は、生活道路の整備のことであり、林道はおそらく含まれていない。山の保全の観点からも林道を含めて考えていただきたい。

(委員)台風災害における林道の現場確認は、自治会長に任せておくだけではいけないと思うが、行政で行っているのか。

(産業建設課)台風19号の災害復旧について説明させていただく。大きな本災害については現在申請事務を進めており、12~1月に国の査定を受けて本年度中に予算がつき実施していく。本災以外の細かい災害については、起債事業で進めていく。今回災害があった箇所については原状復旧を原則に行っており、すべて早期着工を図っていかれるよう進めている。産業建設課では、土木・土地改良等を担当している。国への申請、査定が1月末までであり、災害箇所が多い中で事務を進めるにあたり、練馬区、本庁、丸子地域から職員の応援を受けて総動員で動いている。林道は、森林整備課の担当であり、本庁担当部局総動員で全ての林道を確認しており、災害箇所、本災すべて把握して手続きを進めている。

(委員)林道の確認に自治センターの職員は同行していないのか。

(産業建設課)普段の災害時は、自治センター職員も現地確認を行っている。今回の台風では職員数が足りず、受け持ちの市道、河川等の業務だけで手いっぱいであったため、林道については本庁で対応していただき報告を受けている。

(事務局)林道の修復について『地域をつなぐ道路交通環境の整備』の新たな視点に追加した方がよいというご意見でよろしいか。

(委員)『多彩な地域資源を活かした観光の振興』と『地域をつなぐ道路交通環境の整備』の新たな視点の両方に「災害に強い施設の整備」といった似た文言があるので、表現の整理が必要であればした方がよい。

(委員)『地域に根ざした医療・保健・福祉・介護の充実』では、既存事業の維持や内容の充実化がメインのようなのだが、少子高齢化は全市的な課題ではあるが地域の中で必要なことはないのか。新たな施策など地域単位でできるものはないか。

(会長)他に意見がなければ課題や新たな視点をまとめて、次回、後期まちづくり計画の視点・要素に反映させていく。

### (3) 全体協議 武石地域の「公共交通」について

(会長)本日は新たな提案事項がないため、協議はしない。

### (4) その他

・まちづくり講演会「3.11を学びに変える」 特別講師 佐藤敏郎氏  
日時：1月31日(日)午後1時30～ 場所：上田文化会館

・第9回地域協議会の日程について

日時：1月15日（水）午後7時～

4 閉 会（大草副会長）